

グローバル出荷指数（平成22年基準） について（平成28年Ⅲ期（第3四半期））

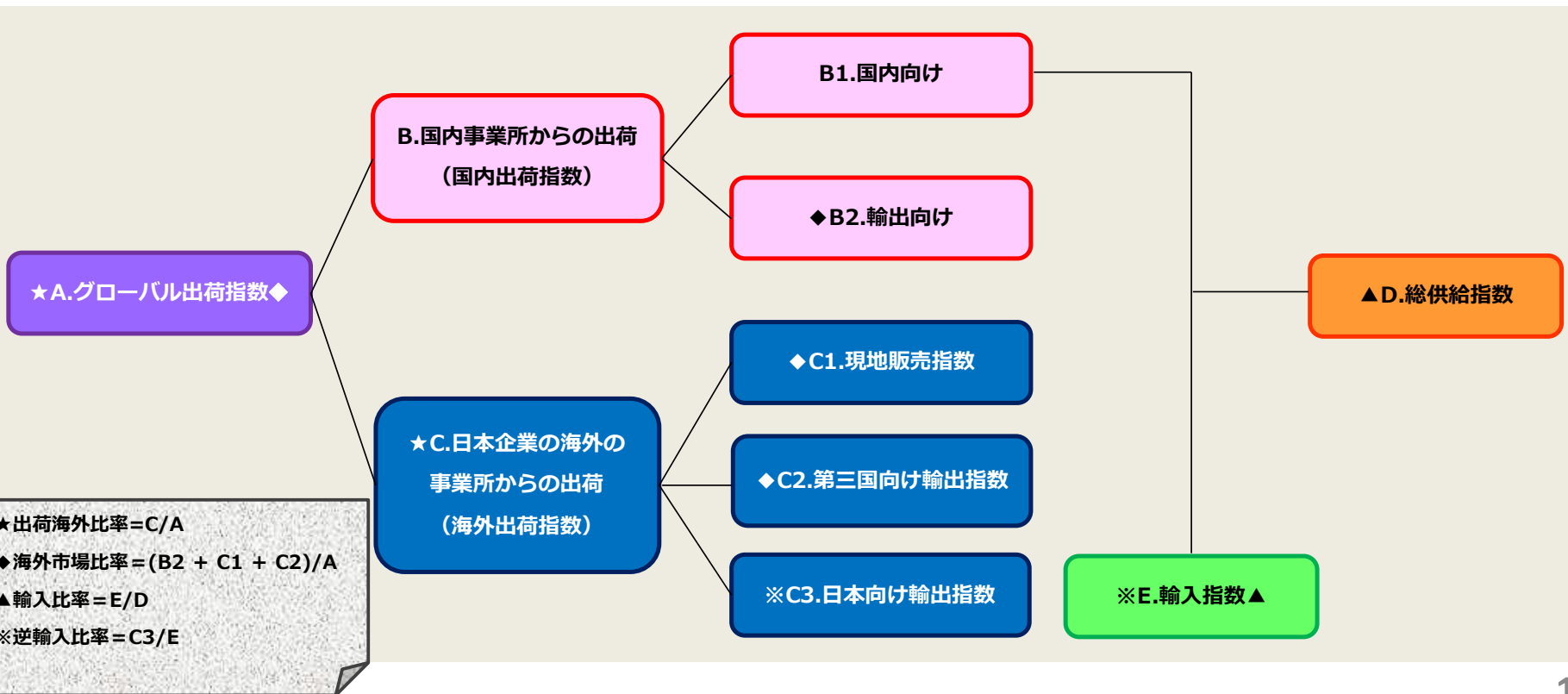
経済解析室
平成29年1月



ミニ経済分析URL: <http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikeizai-result-1.html>

グローバル出荷指数とは？

- 製造業のグローバル展開を踏まえ、国内外の製造業の生産動向を「業種別」に一元的に捉えようとした指標。
- 製造業の動向を事業所ベースで捉えることとし、「鉱工業出荷内訳表・総供給表」と「海外現地法人四半期調査」の組合せにより、**海外生産（出荷）比率等**を算出している。



製造業グローバル出荷指数（季節調整済）の推移（総括表）

	27年度	28年		
		4～6月期	7～9月期	前期比
グローバル出荷指数	104.3	103.2	103.5	0.3
国内出荷指数	96.3	95.1	95.7	0.6
国内向け	95.8	94.6	95.5	1.0
輸出向け	98.7	96.9	97.6	0.7
海外出荷指数	129.6	128.9	128.2	▲ 0.5
自国向け	133.0	133.1	133.1	0.0
日本向け	113.7	110.2	109.3	▲ 0.8
第三国向け	125.8	125.9	120.4	▲ 4.4
海外出荷指数	129.6	128.9	128.2	▲ 0.5
中国(含香港)	129.4	109.0	107.1	▲ 1.7
ASEAN4	114.1	133.8	129.7	▲ 3.1
北米	159.0	150.6	153.8	2.1
それ以外の地域	116.0	122.9	121.6	▲ 1.1

注1) 各四半期の結果については季節調整済指数、27年度の結果については原指数。

注2) 国内出荷指数は、「鉱業」を含まない「製造工業」の出荷指数。

製造業グローバル出荷指数（原指数）の推移（総括表）

	27年度	27年	28年	
		7～9月期	7～9月期	前年同期比
グローバル出荷指数	104.3	104.7	103.8	▲ 0.9
国内出荷指数	96.3	97.0	96.4	▲ 0.6
国内向け	95.8	96.3	96.0	▲ 0.3
輸出向け	98.7	99.9	97.9	▲ 2.0
海外出荷指数	129.6	129.0	127.3	▲ 1.3
自国向け	130.8	131.9	131.6	▲ 0.2
日本向け	121.0	117.3	112.4	▲ 4.2
第三国向け	130.2	124.9	119.4	▲ 4.4
海外出荷指数	129.6	129.0	127.3	▲ 1.3
中国(含香港)	129.4	130.5	126.2	▲ 3.3
ASEAN4	114.1	114.9	114.8	▲ 0.1
北米	159.0	155.0	154.7	▲ 0.2
それ以外の地域	116.0	116.3	114.7	▲ 1.4

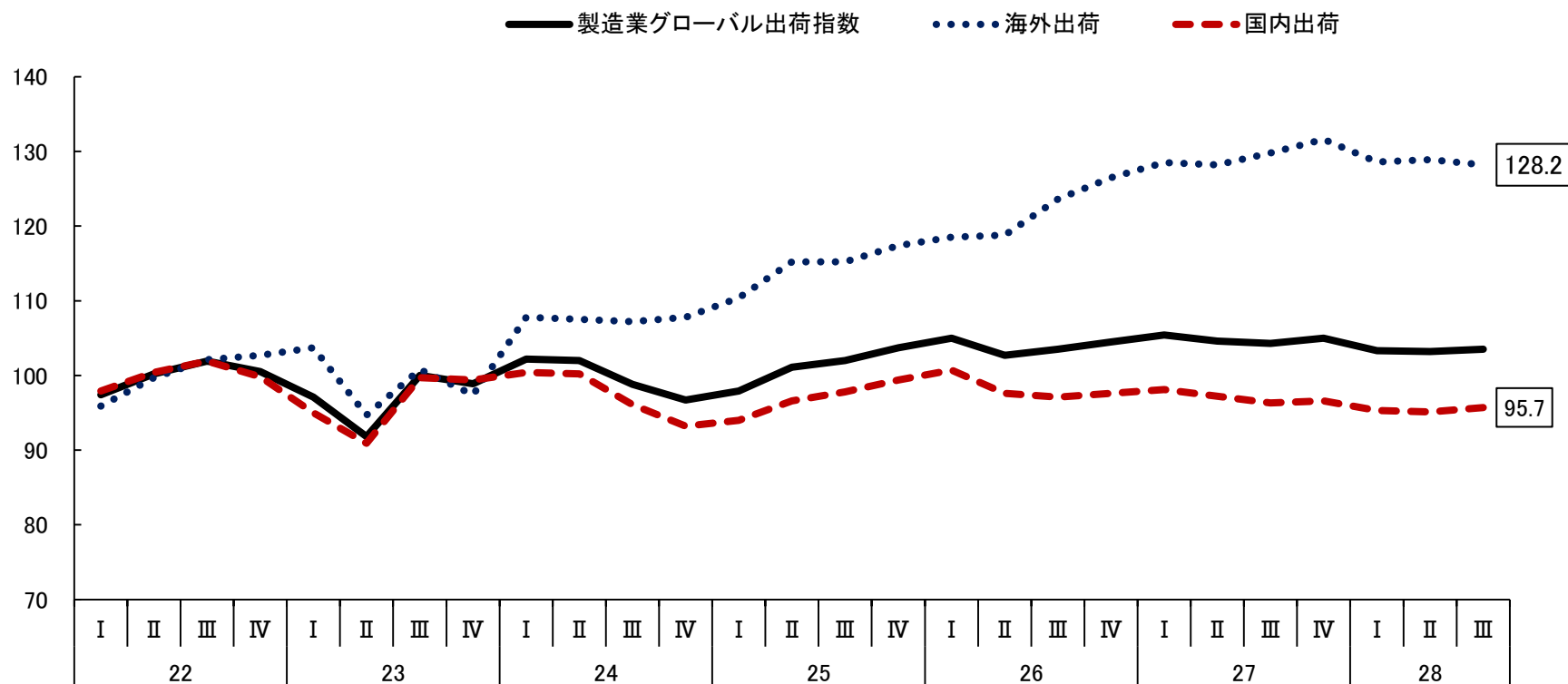
注) 国内出荷指数は、「鉱業」を含まない「製造工業」の出荷指数。

製造業グローバル出荷指数（季節調整済）の推移

28年Ⅲ期の製造業グローバル出荷指数（季節調整済）は103.5で、前期比0.3%の上昇。

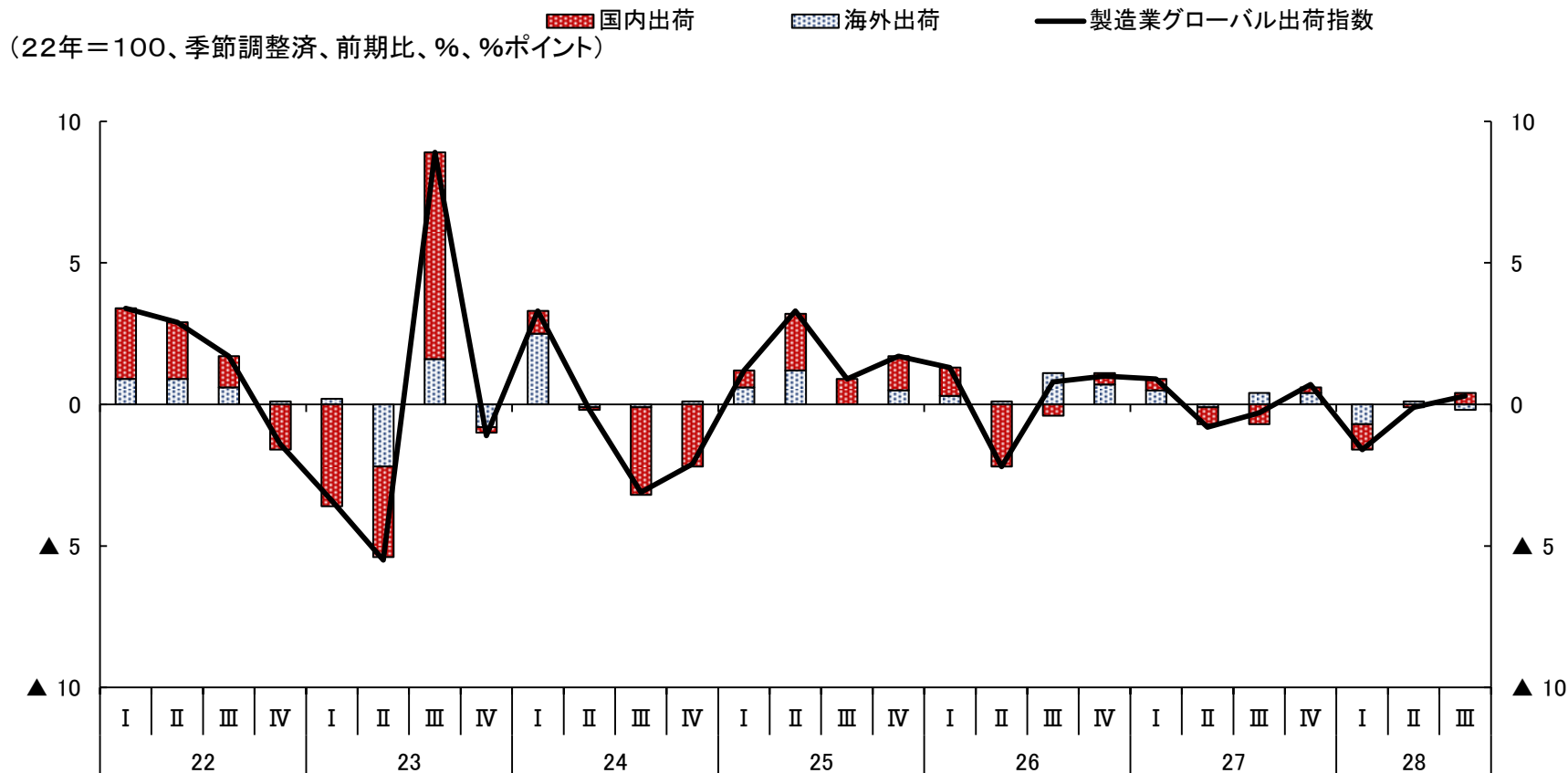
海外出荷指数は128.2で、2期ぶりに前期比マイナス0.5%低下。

国内出荷指数は95.7で、3期ぶりに前期比0.6%上昇。



製造業グローバル出荷指数（季節調整済）の推移（前期比、内外寄与度）

28年Ⅲ期の製造業グローバル出荷指数は、前期比上昇。
 海外出荷は2期ぶりに同マイナス0.2%ポイント低下寄与。国内出荷は3期ぶりに同0.4%ポイント上昇寄与。

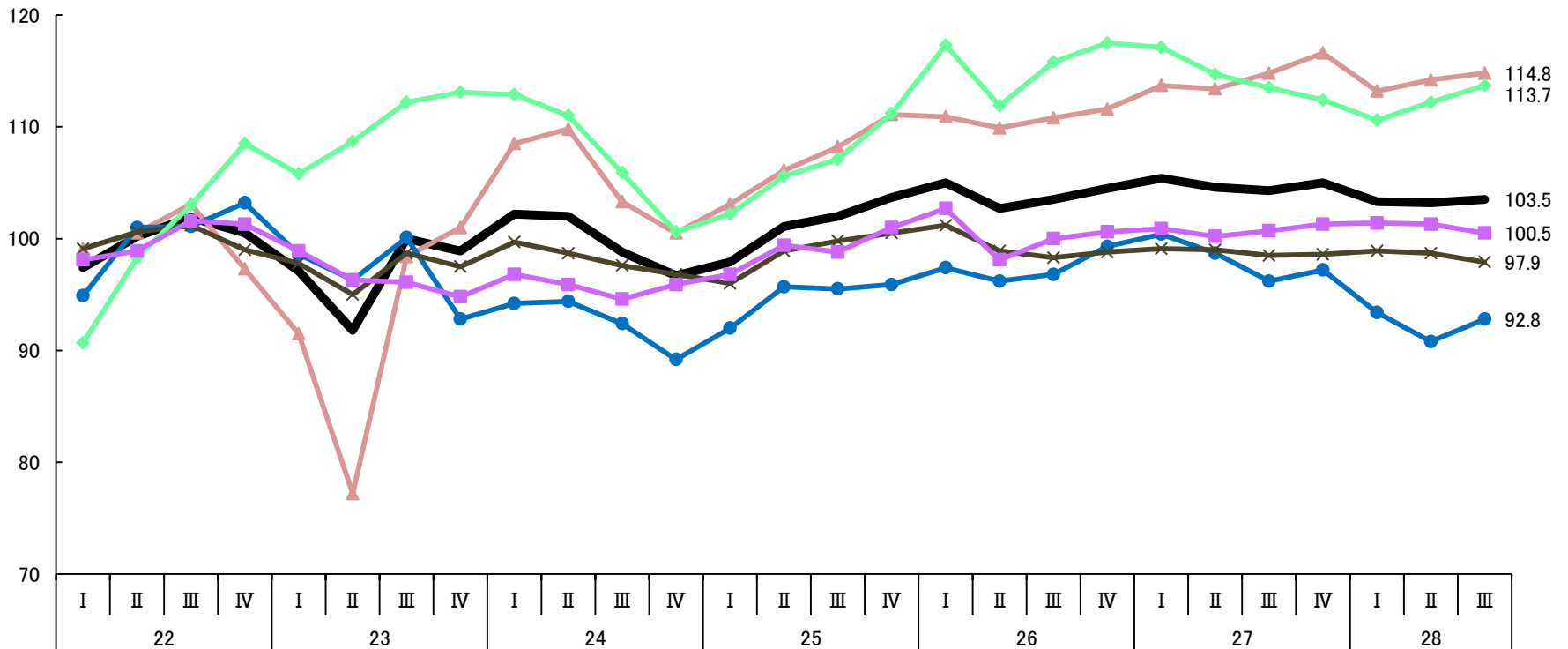


グローバル出荷指数（季節調整済）の推移（業種別）

主要業種では、輸送機械工業（前期比0.5%上昇）、電気機械工業（同2.2%上昇）、はん用・生産用・業務用機械工業（同1.3%上昇）が前期比上昇。一方、化学工業（同マイナス0.8%低下）は低下。

— 全業種
 — 輸送機械
 — 電気機械
 — それ以外の業種計
 — はん用・生産用・業務用機械
 — 化学

（22年=100、季節調整済）

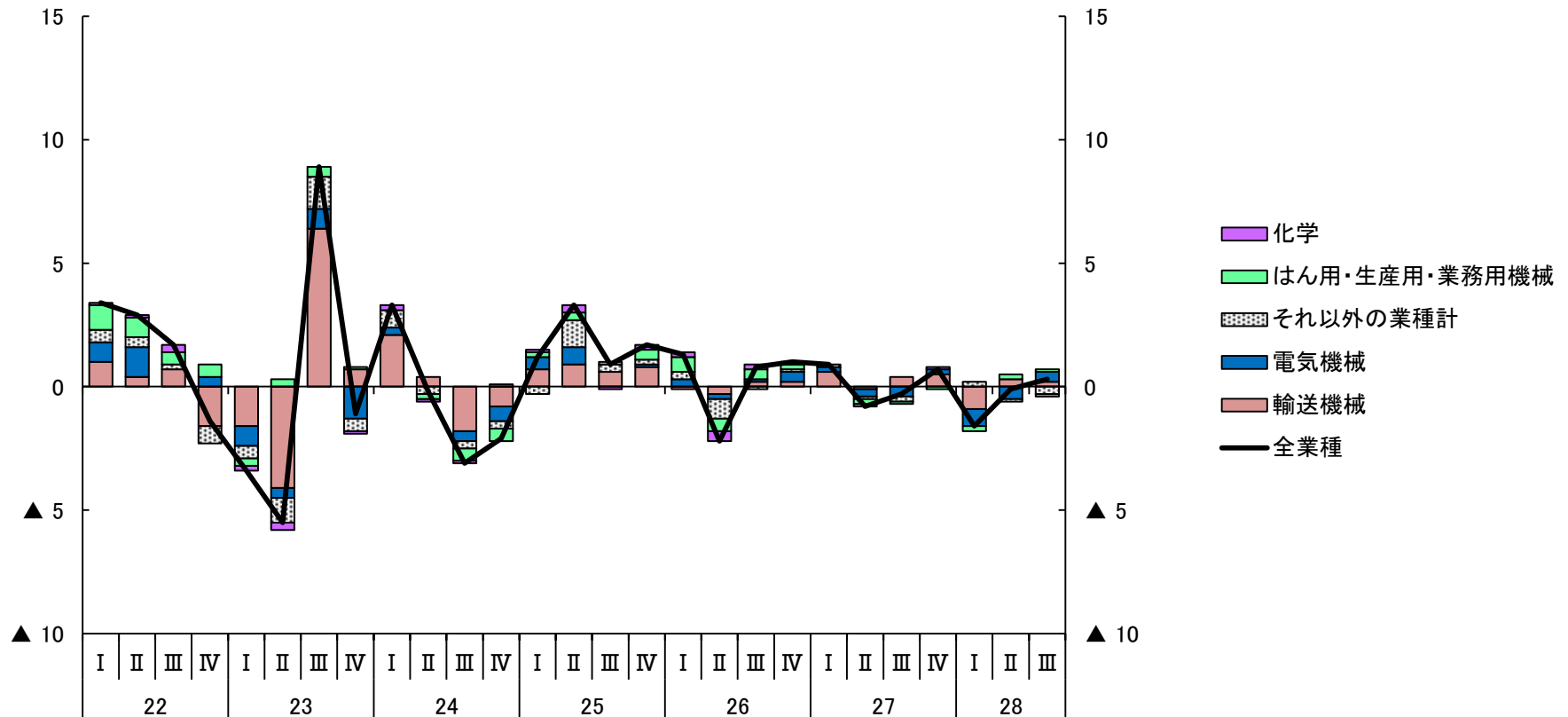


※業種の内容については、スライド3 2の「用語の説明」を参照のこと。

グローバル出荷指数の推移（前期比、業種別寄与度）

グローバル出荷全体の前期比上昇に対し、輸送機械工業が、2期連続で前期比0.2%ポイントの上昇寄与。電気機械工業は3期ぶりに前期比上昇寄与で、寄与幅も大きくなっている。

（22年=100、季節調整済、前期比、%、%ポイント）



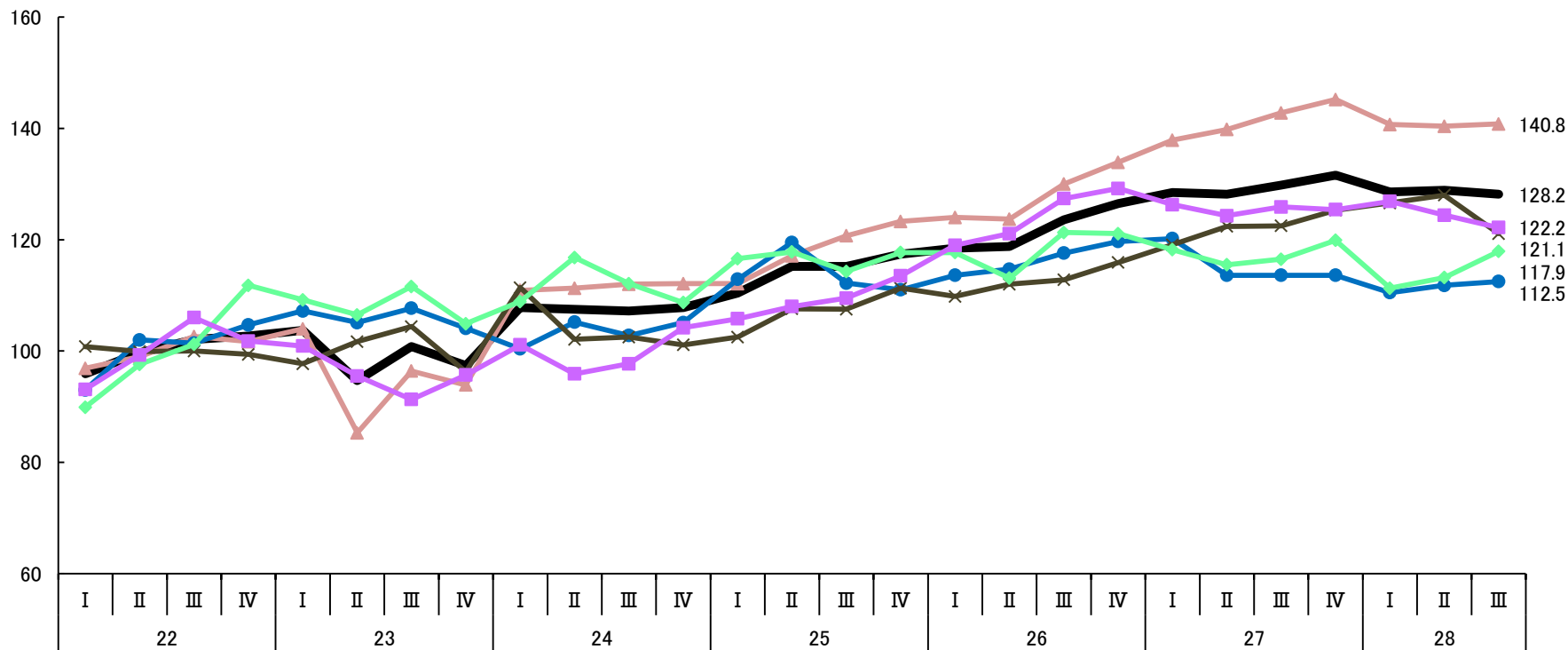
業種別・仕向け先別・地域別 海外出荷指数

業種別海外出荷指数（季節調整済）の推移

主要業種のうち、前期比で上昇したのは、輸送機械工業（前期比0.3%上昇）、電気機械工業（同0.6%上昇）、はん用・生産用・業務用機械工業（同4.2%上昇）。化学工業は、前期比マイナス1.8%低下。

—●— 全業種
 —▲— 輸送機械
 —●— 電気機械
 —×— それ以外の業種計
 —◇— はん用・生産用・業務用機械
 —■— 化学

（22年＝100、季節調整済）

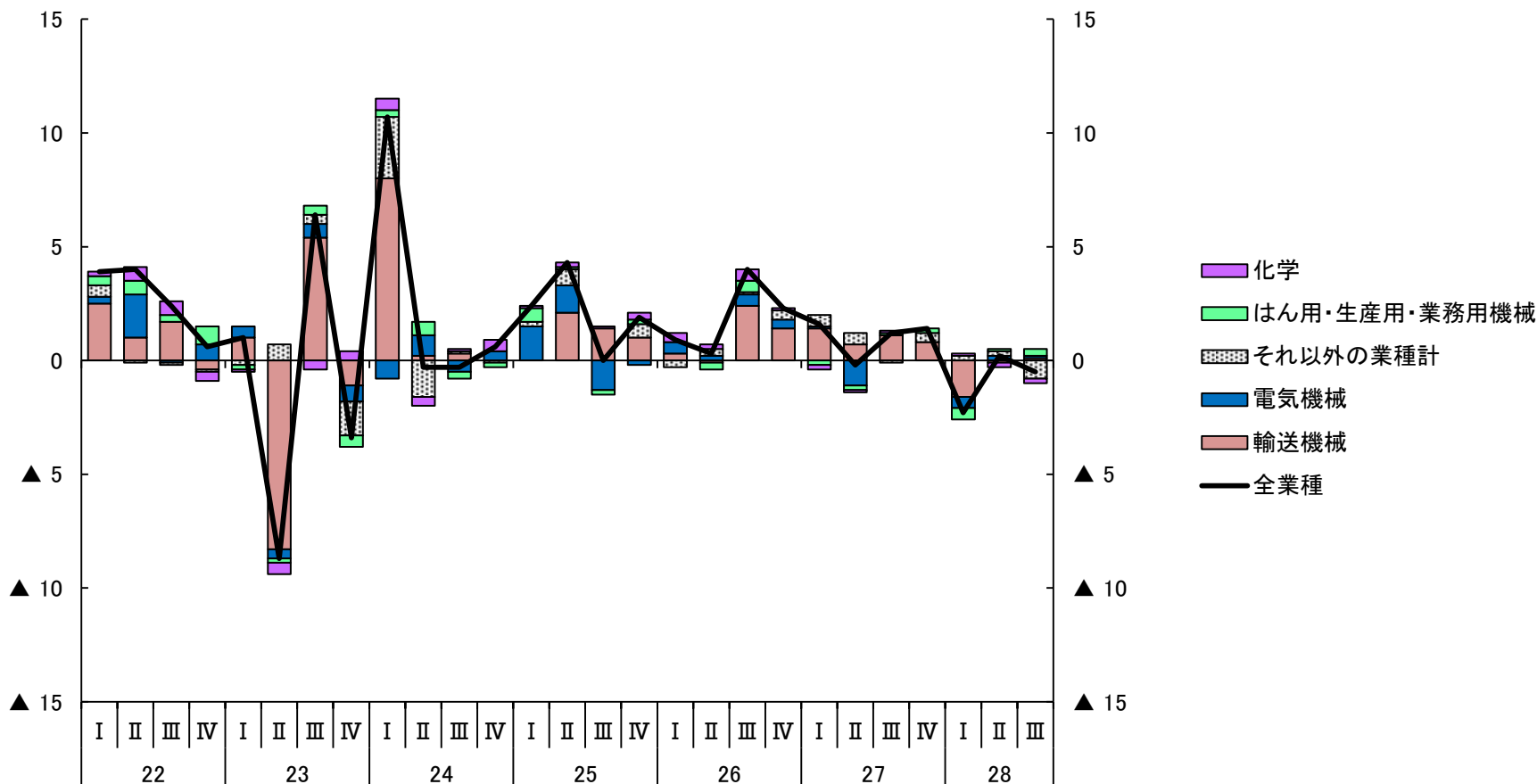


※業種の内容については、スライド3 2の「用語の説明」を参照のこと。

海外出荷指数の業種別前期比寄与度

海外出荷全体の前期比マイナス0.5%に対し、化学工業がマイナス0.2%ポイントの低下寄与。当期は、主業種以外の業種の低下寄与が大部分を占める。

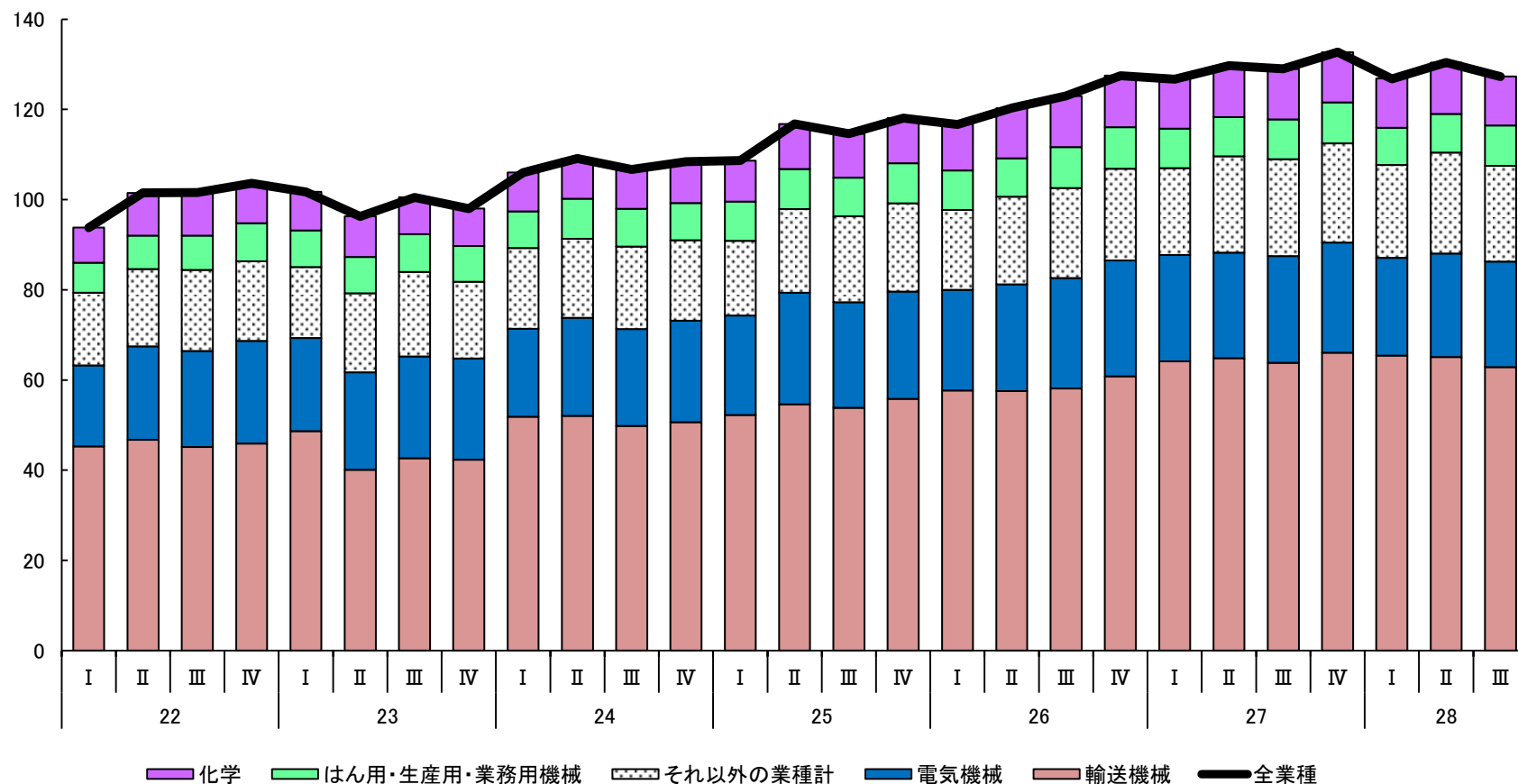
(22年=100、季節調整済、前期比、%、%ポイント)



海外出荷指数（原指数）の業種別構成比

28年Ⅲ期の海外出荷指数においては、輸送機械の割合は49.4%。これに次ぐのが、電気機械の18.4%で、構成比が若干拡大していた。

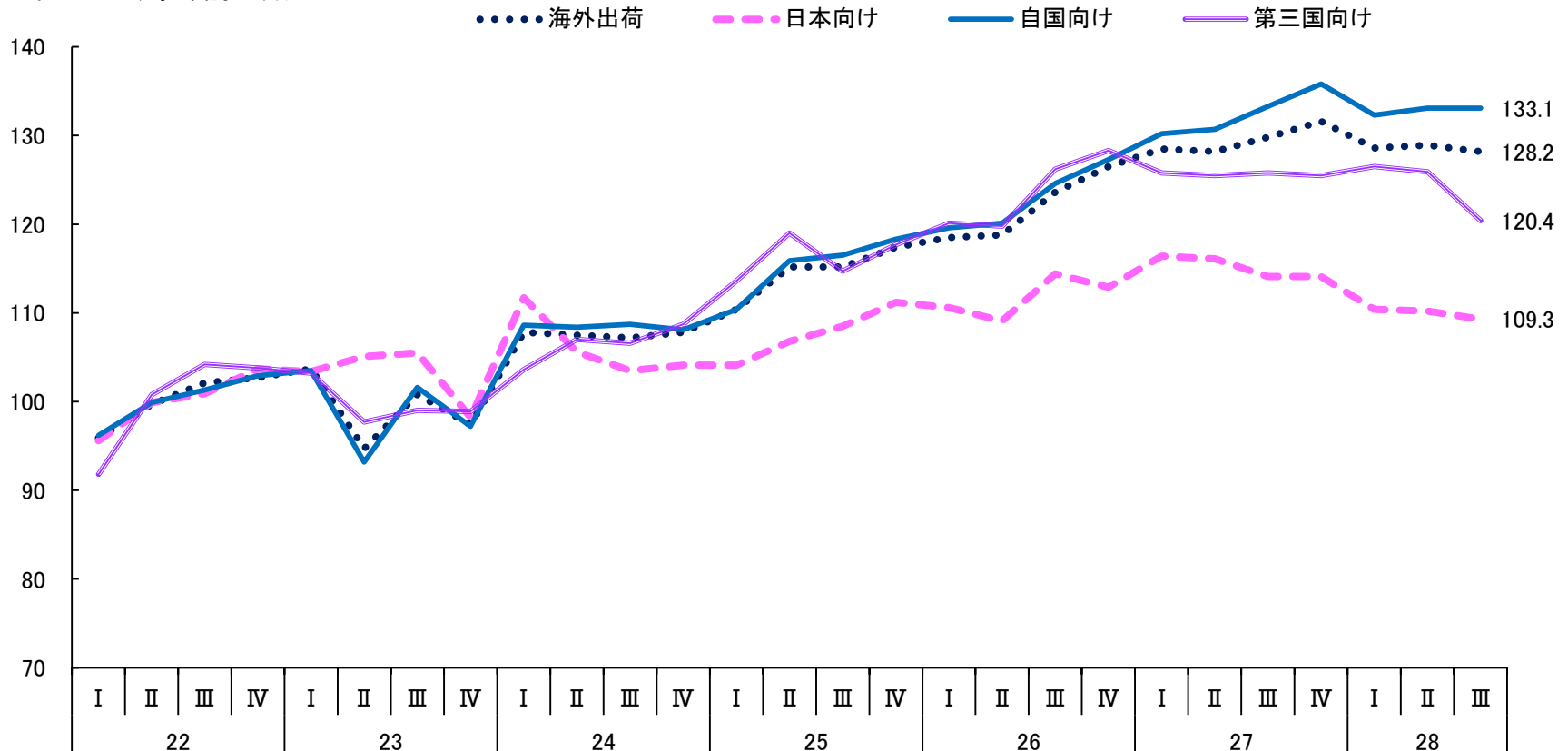
(22年=100)



仕向け先別海外出荷指数（季節調整済）の推移

海外現地法人の出荷を仕向け先別に見てみると、「自国向け」は横ばい、「日本向け」は前期比マイナス0.8%低下、「第三国向け」は同マイナス4.4%低下。

(22年=100、季節調整済)



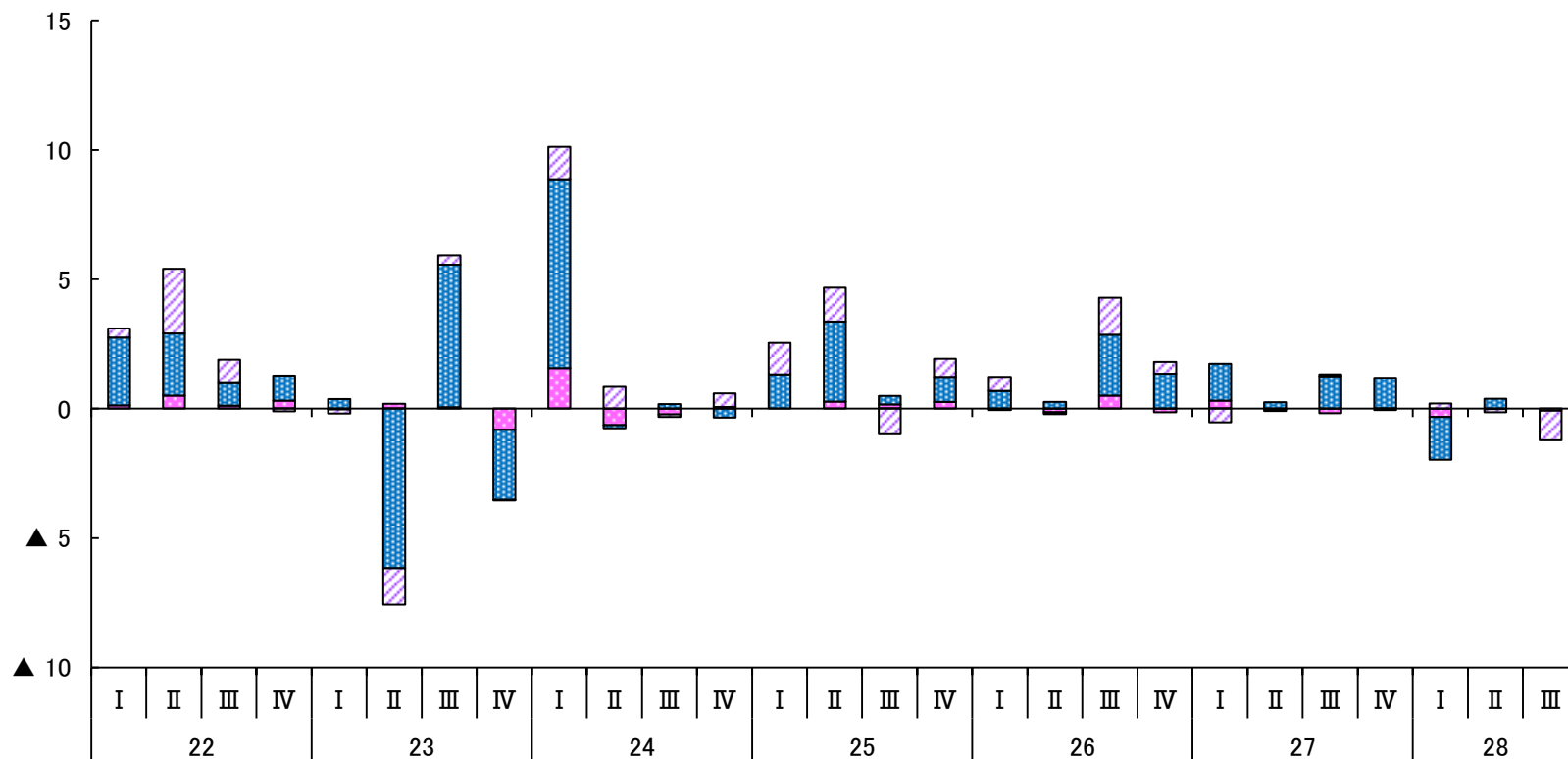
※業種の内容については、スライド3 2の「用語の説明」を参照のこと。

海外出荷指数の仕向け先別前期比寄与度

海外出荷全体の前期比マイナス0.5%に対し、「第三国向け」が、2期連続のマイナス1.1%ポイントの低下寄与となり、海外出荷低下の主因となった。

□ 第三国向け ■ 自国向け ■ 日本向け

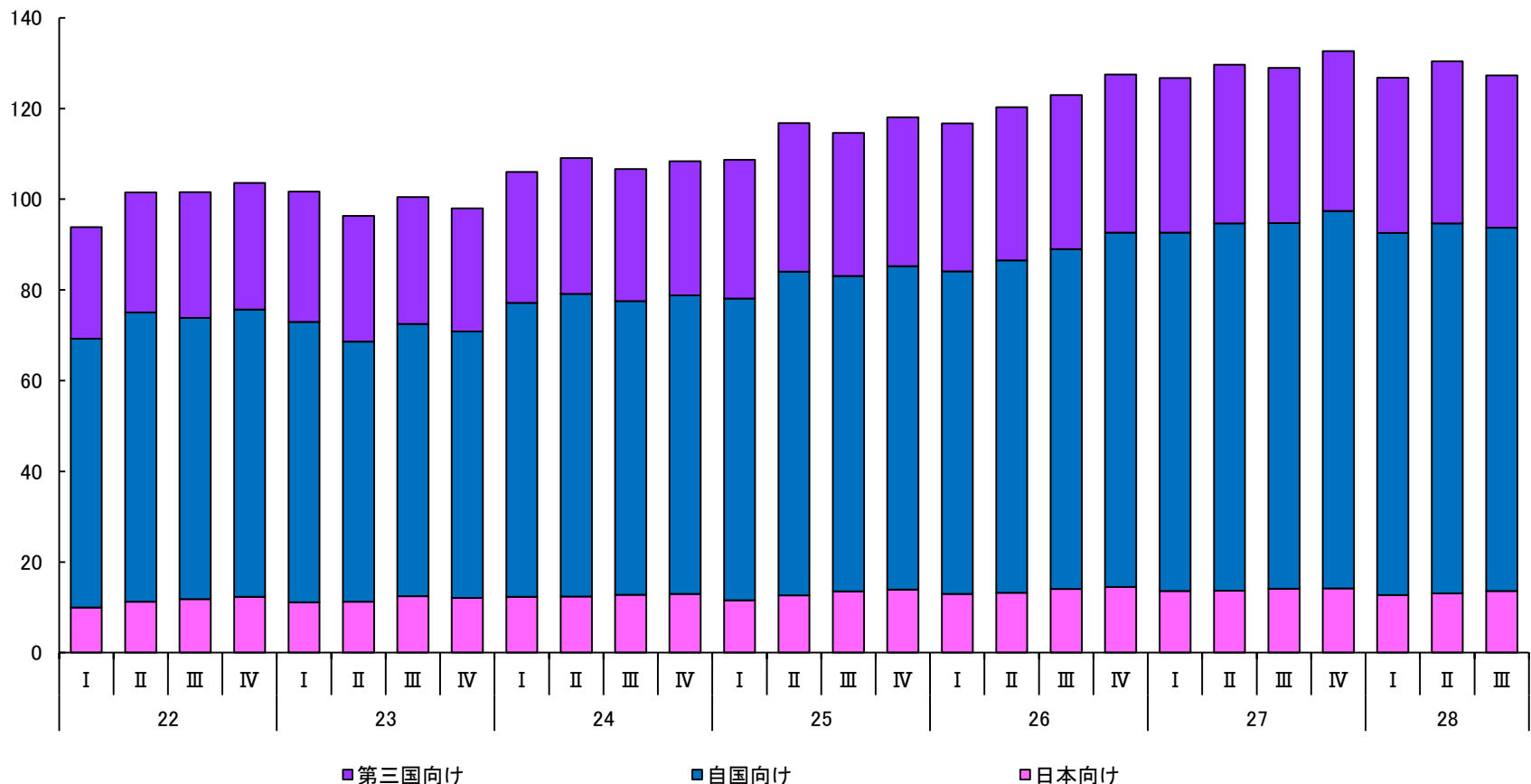
(22年=100、季節調整済、前期比、%、%ポイント)



海外出荷指数（原指数）の仕向け先別構成比

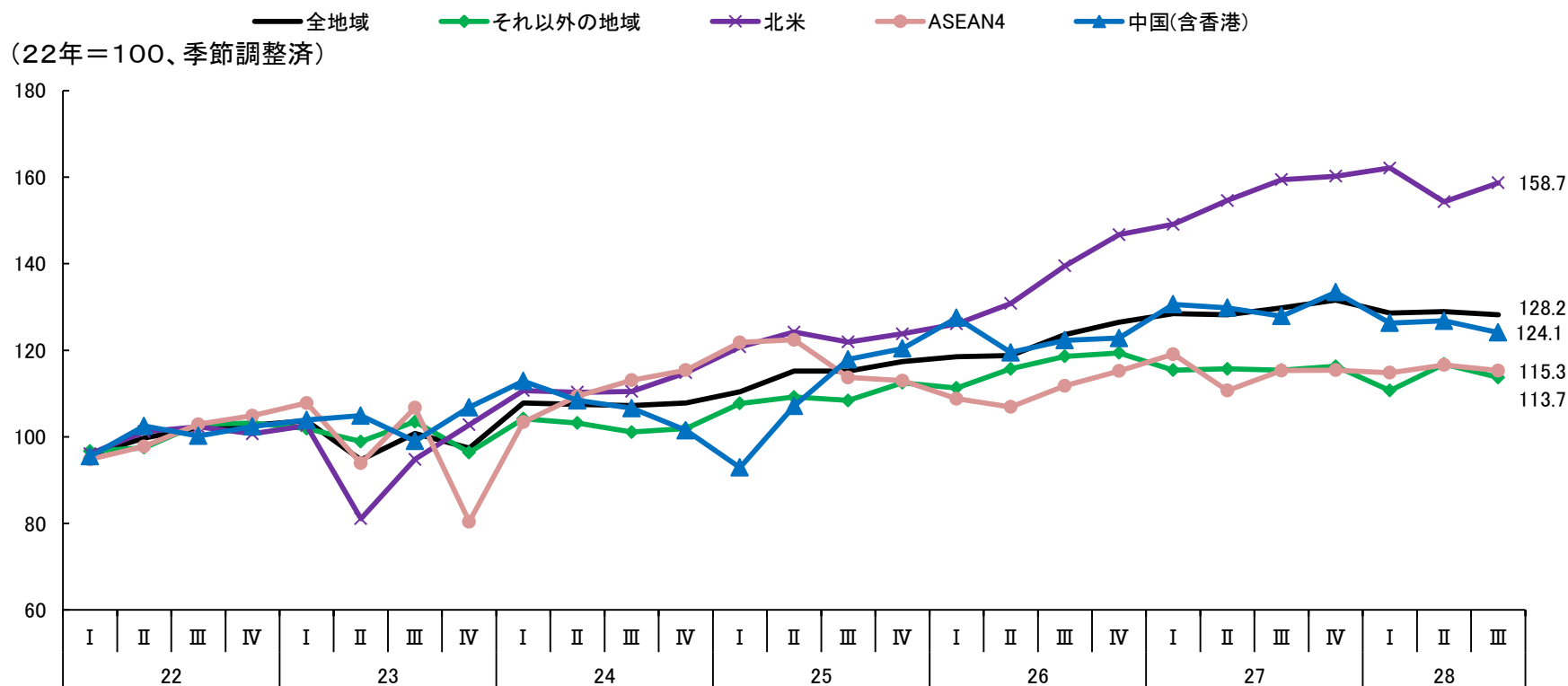
28年Ⅲ期の海外出荷指数においては、「自国向け」の割合は62.9%。
これに次ぐのが、「第三国向け」の26.4%で、「日本向け」は10.7%。

(22年=100)



地域別海外出荷指数（季節調整済）の推移

28年Ⅲ期の海外出荷指数の地域別では、中国（前期比マイナス2.1%低下）、ASEAN4（同マイナス1.1%低下）、それ以外の地域（同マイナス2.7%低下）が低下。一方、北米だけが、同2.9%の上昇。



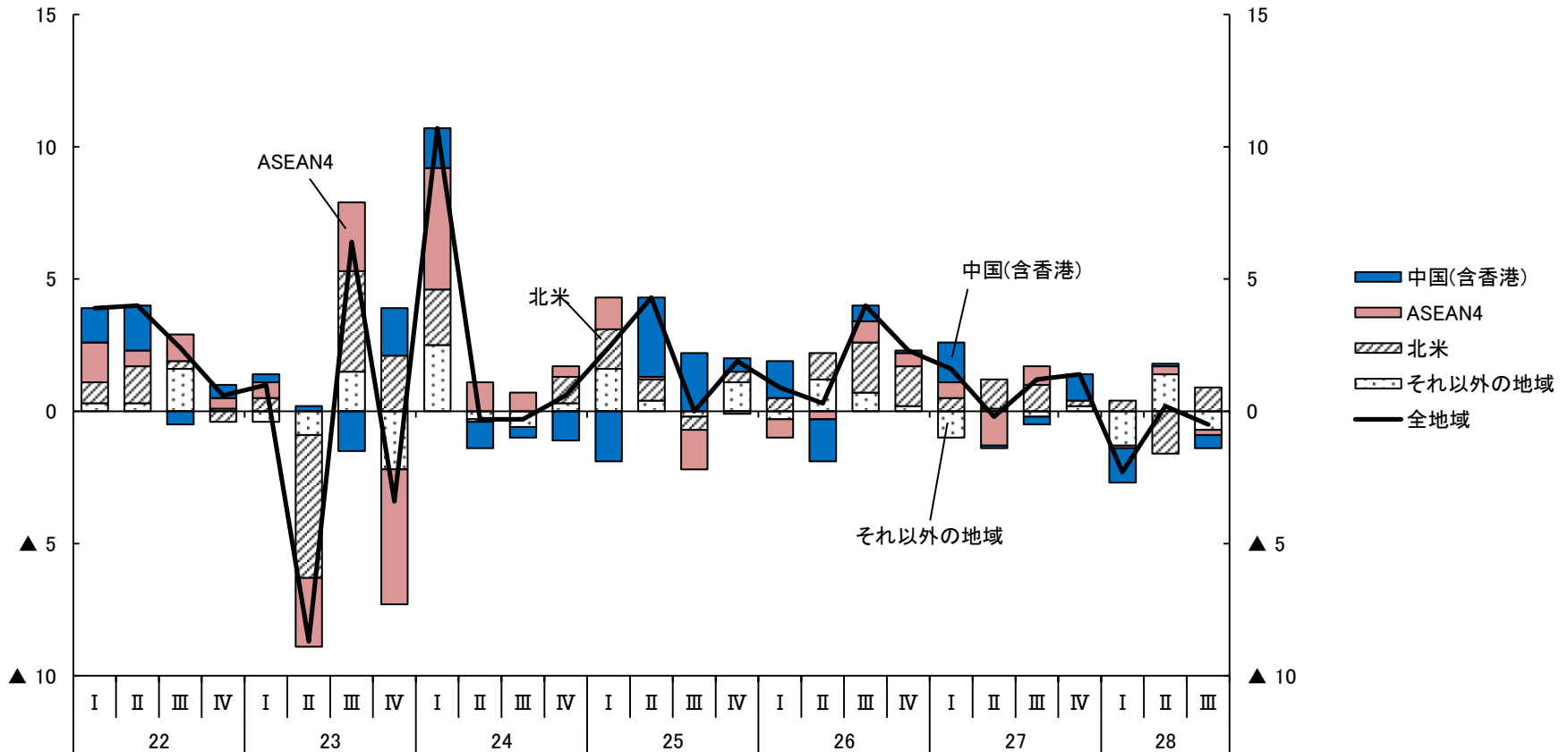
※海外現地法人四半期調査の売上高と輸入価格指数（財務省貿易統計）を用いて主要地域別のグローバル出荷指数（季節調整済）を算出。

※地域の内容については、スライド3 2の「用語の説明」を参照のこと。

海外出荷指数の地域別前期比寄与度

地域別海外出荷指数の前期比マイナス0.5%低下に対し、中国がマイナス0.5%ポイント、ASEANがマイナス0.2%ポイントとともに低下寄与。北米は2期ぶりに前期比プラス寄与（0.9%ポイント）。

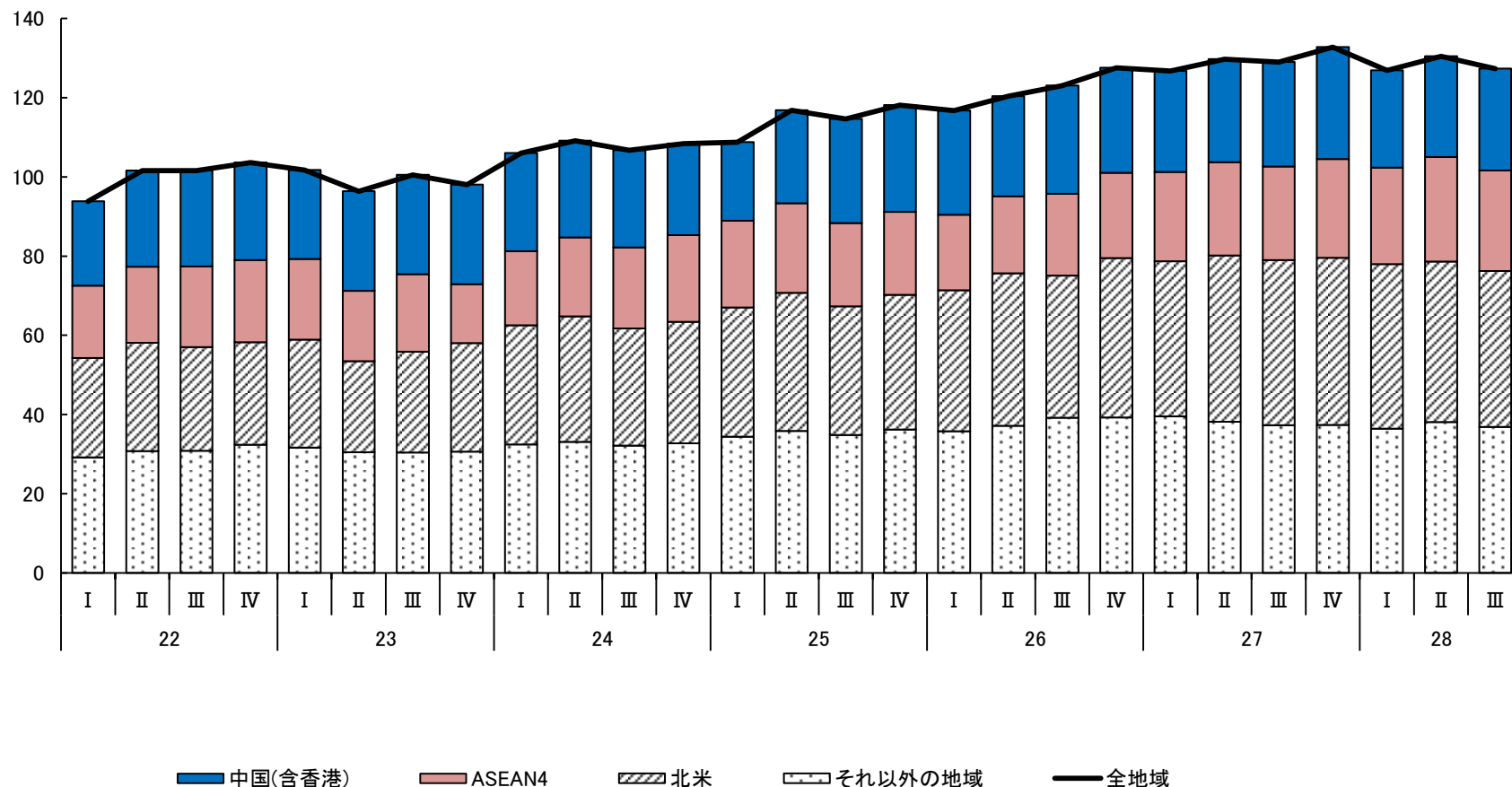
(22年=100、季節調整済、前期比、%、%ポイント)



海外出荷指数（原指数）の地域別構成比

28年Ⅲ期の地域別の内訳をみると、北米の割合が30.9%で、これに次ぐのが中国(含香港)で20.2%。

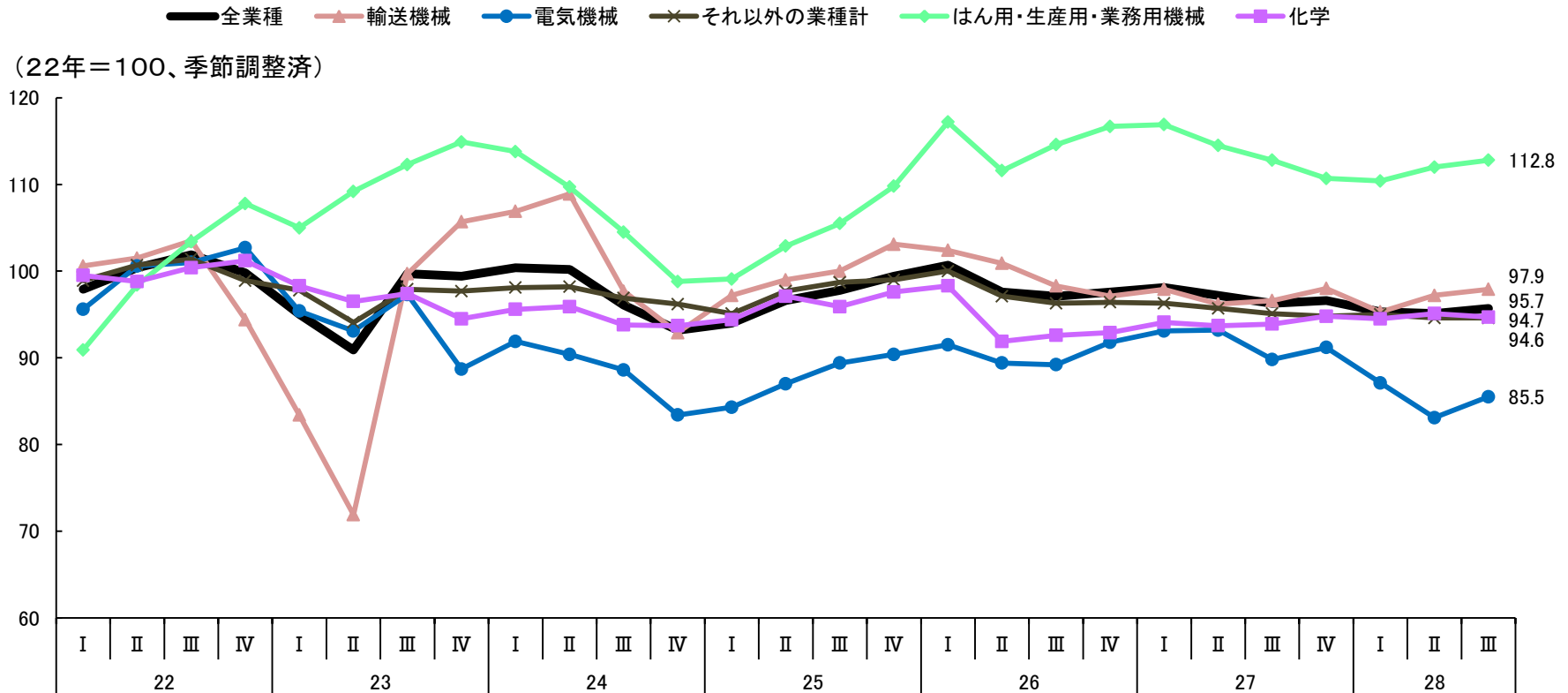
(22年=100)



国内出荷指数

国内出荷指数（季節調整済）の推移（業種別）

主要業種は輸送機械工業（前期比0.7%上昇）、電気機械工業（同2.9%上昇）、はん用・生産用・業務用機械工業（同0.7%上昇）が上昇。一方、化学工業は同マイナス0.4%低下。

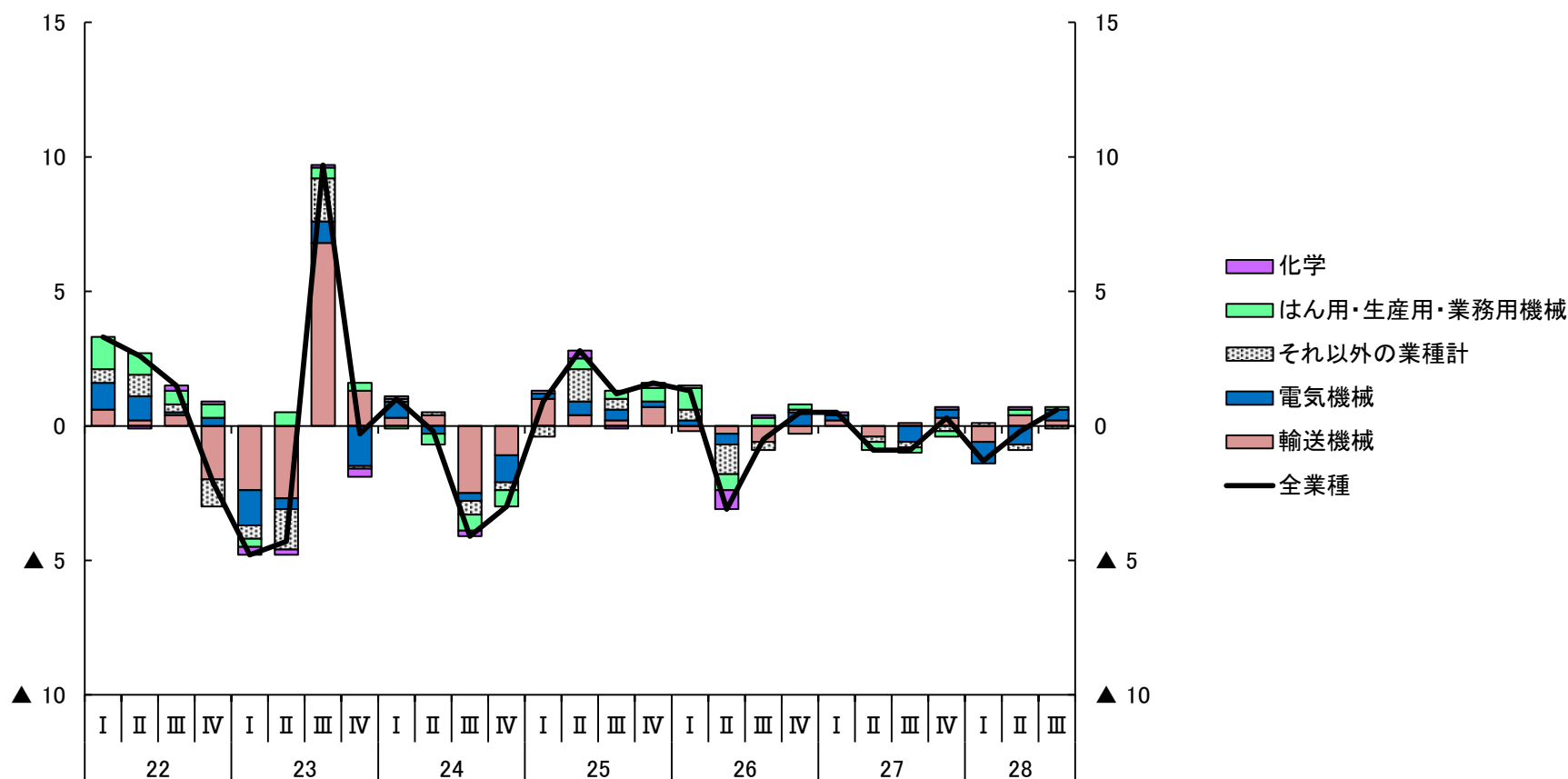


※業種の内容については、スライド3 2の「用語の説明」を参照のこと。

国内出荷指数の推移（前期比、業種別寄与度）

国内出荷全体の前期比0.6%に対し、輸送機械の前期比寄与が、2期連続で0.2%ポイントの上昇寄与。また、電気機械工業も、3期ぶりに、0.4%ポイントの上昇寄与に転じた。

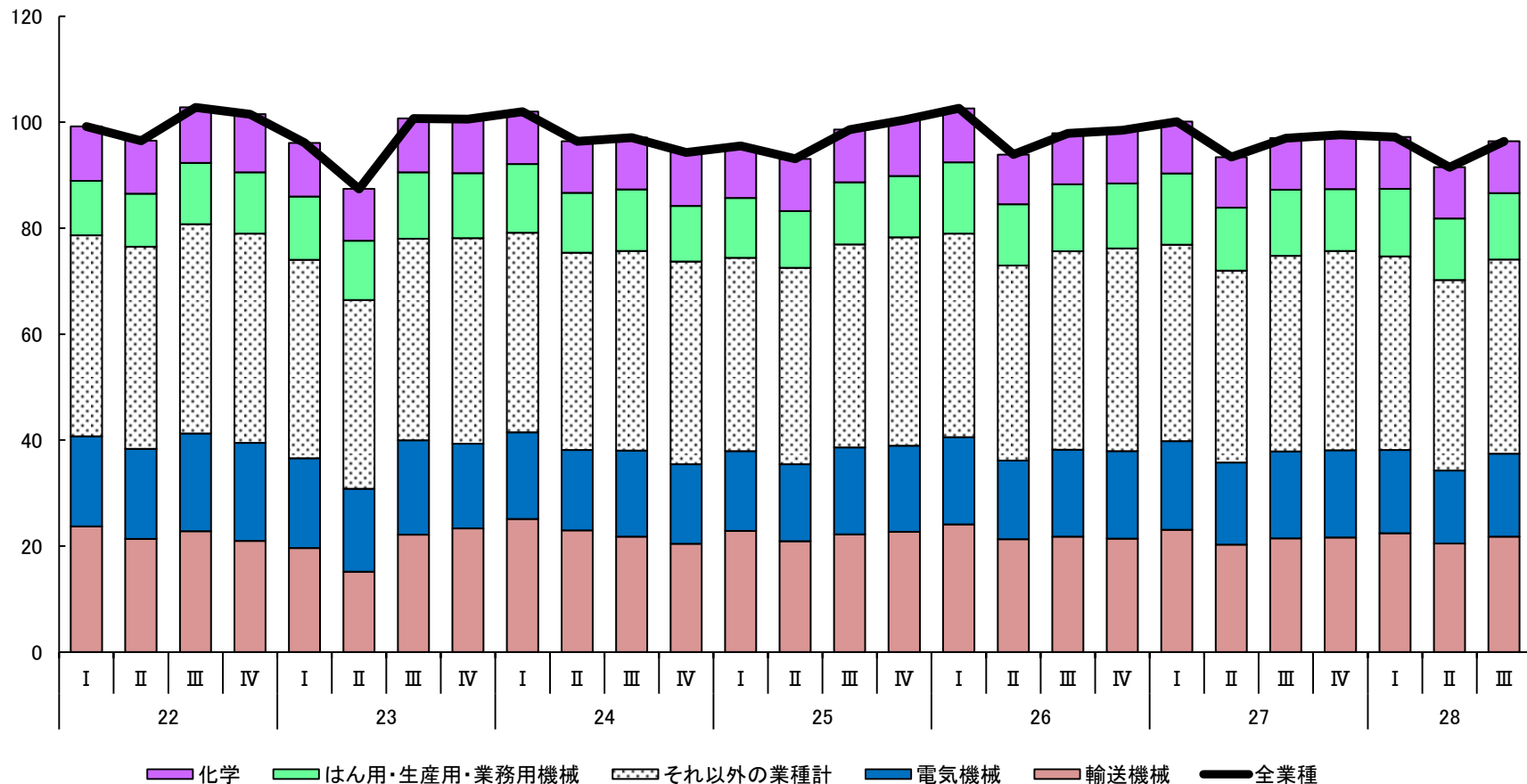
（22年=100、季節調整済、前期比、%、%ポイント）



国内出荷指数（原指数）の業種別構成比

28年Ⅲ期の国内出荷指数においては、輸送機械の割合は22.6%。これに次ぐのが、電気機械の16.2%で、構成比が若干拡大していた。

(22年=100)



グローバル化比率

28年Ⅲ期のグローバル化比率

28年Ⅲ期の製造業出荷海外比率は29.5%。

28年Ⅲ期の海外市場比率は40.5%。

28年Ⅲ期の逆輸入比率は24.6%。

注) 製造業出荷海外比率：日本国内の鉱工業の活動と日系現地法人の活動の比率

海外市場比率：グローバル出荷のうち、海外市場に出荷される割合

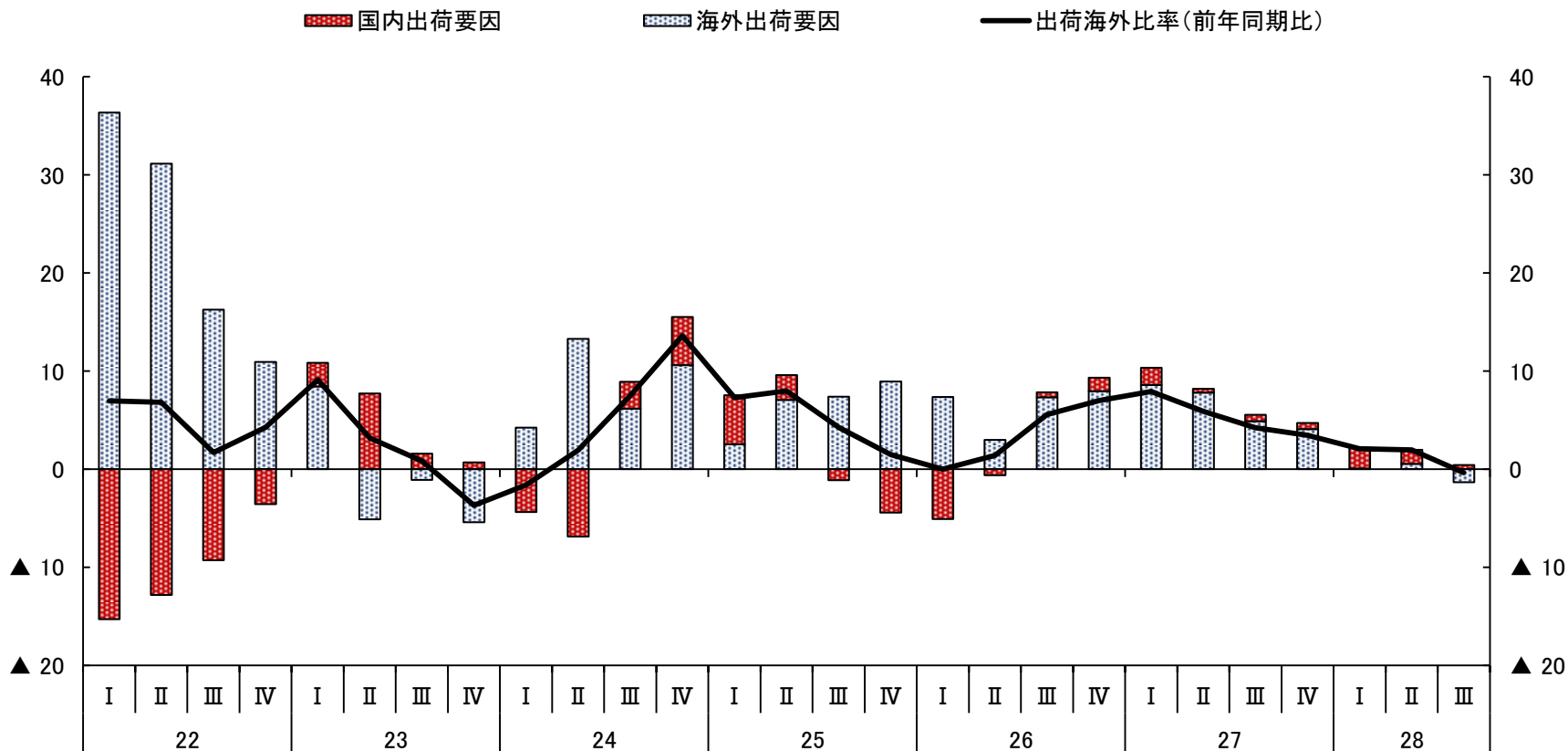
逆輸入比率：日本の輸入のうち、日系現地法人の日本向け輸出の割合

	製造業計	輸送機械	はん用・生産用・業務用機械	電気機械	化学	それ以外の業種計
出荷海外比率	29.5%	47.7%	18.4%	32.1%	26.0%	14.9%
海外市場比率	40.5%	58.2%	34.0%	41.1%	38.4%	25.9%
逆輸入比率	24.6%	56.9%	34.9%	51.9%	8.0%	12.2%

製造業出荷海外比率の前年同期比要因分解（季節調整前）

製造業出荷海外比率の前年同期比の低下の主因は、海外出荷の減少である「海外出荷要因」によるもの。平成28年に入って、海外出荷に、出荷海外比率を押し上げる力がない。

(22年=100、前年同期比、%、%ポイント)



グローバル化比率の季節調整値

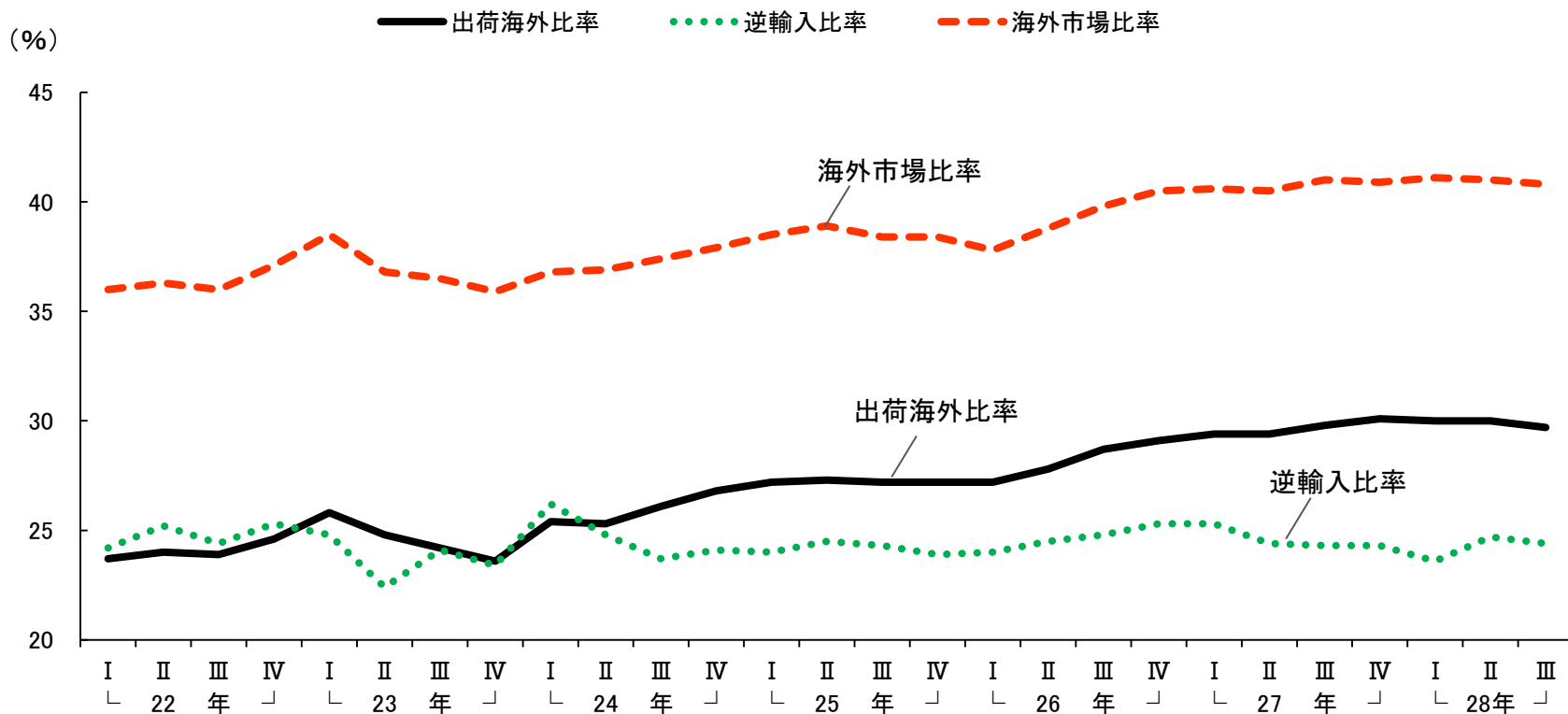
- 出荷海外比率等のグローバル化比率にも、季節変動が存在しているため、各期の数値の前期との単純比較は出来ない。
- そこで、グローバル化比率自体に季節調整を施す試みを実施。
- 季節調整の施された数値自体には、意味はなく、あくまで過去の各期のレベルとの比較に意味がある。
- よって、グローバル化比率の数値自体は、季節調整前の数値を参照。28年Ⅲ期分は、スライド23の数値。

グローバル化比率（季節調整済）の推移

28年Ⅲ期の製造業出荷海外比率は、前期より低下。

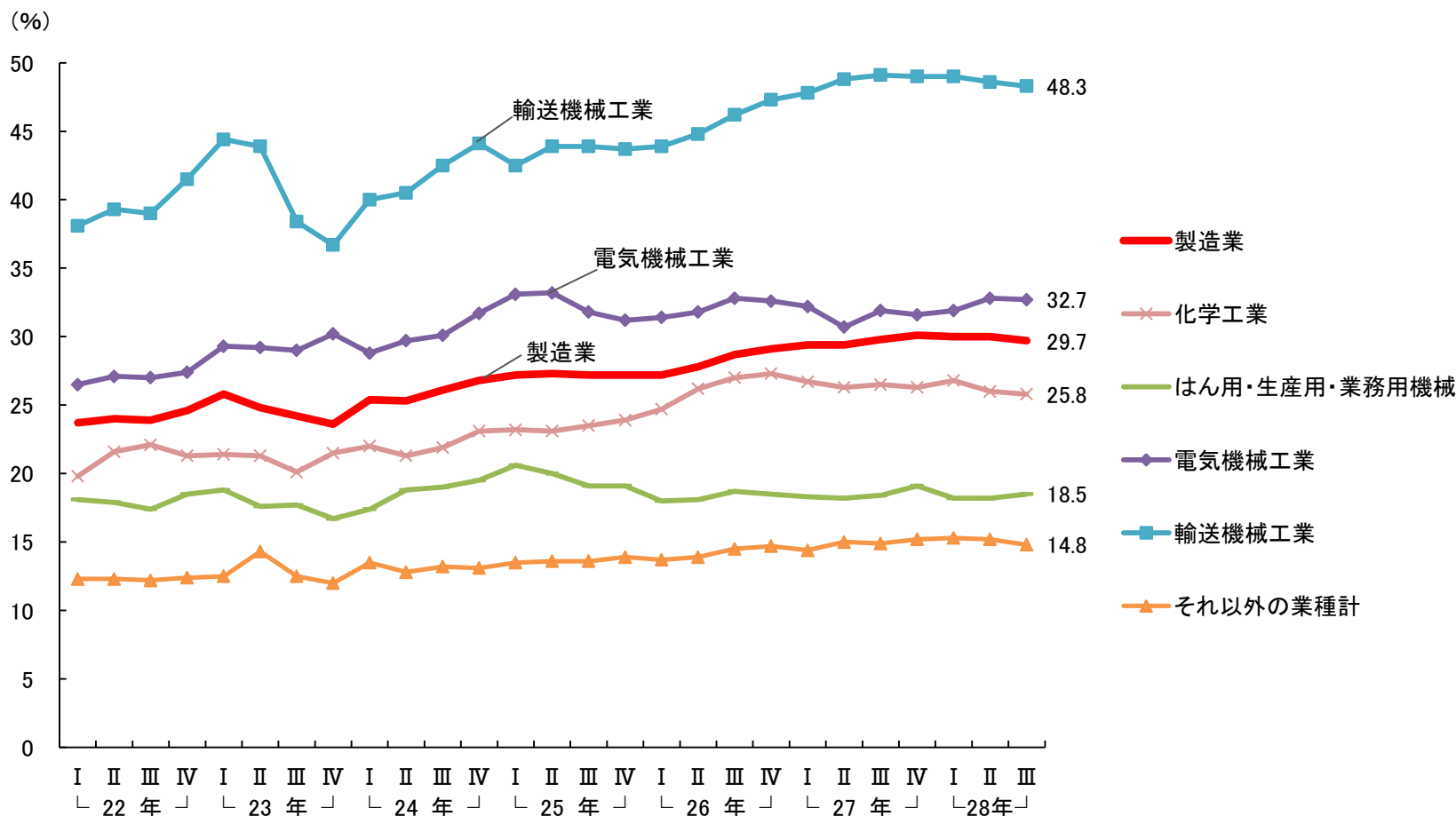
28年Ⅲ期の海外市場比率は過去最高だった前々期から、2期連続低下。

逆輸入比率は27年Ⅱ期以降、低下傾向だったが、前期、当期と上昇している。



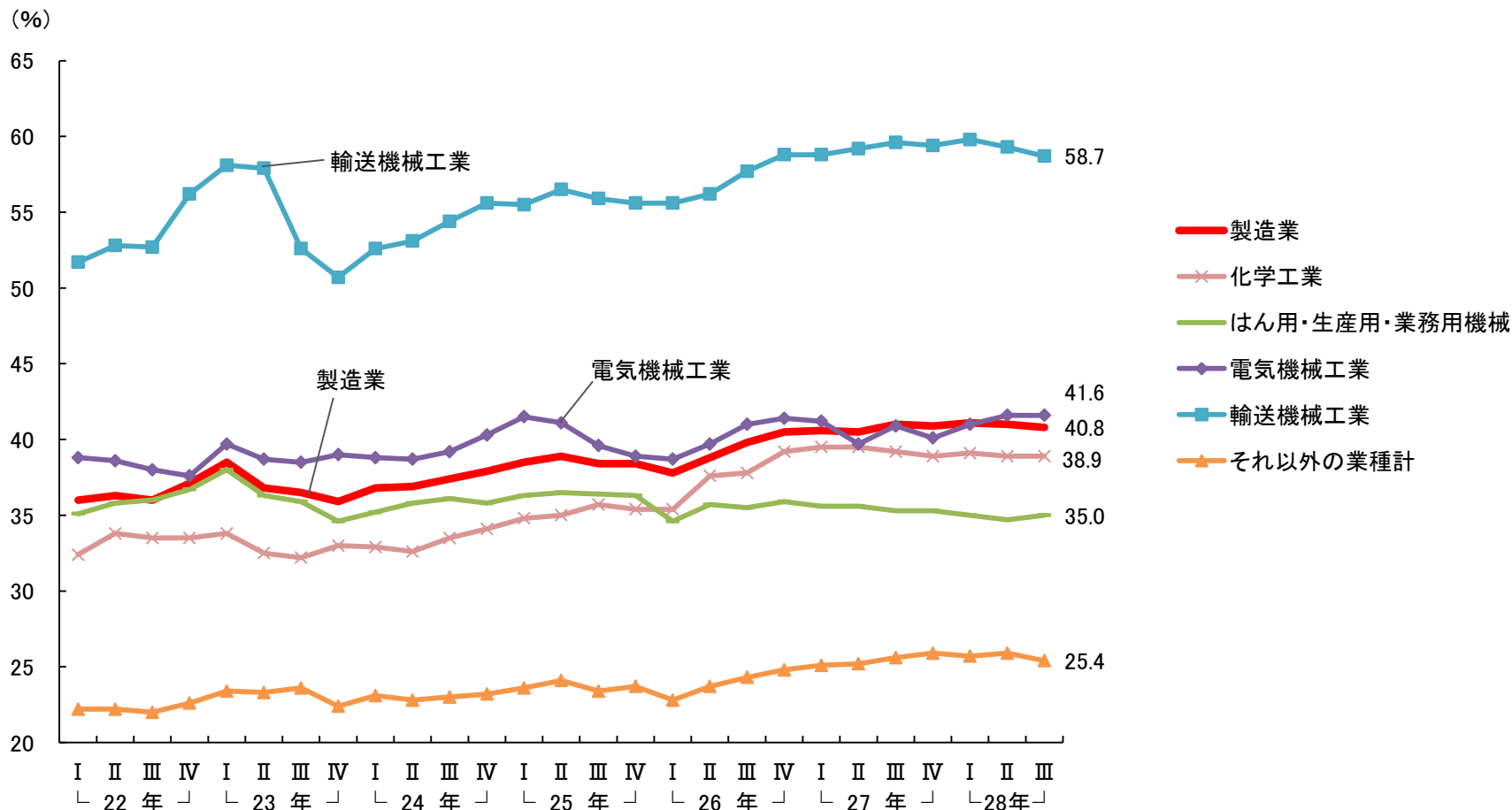
業種別製造業出荷海外比率（季節調整済）の推移

28年Ⅲ期の業種別の出荷海外比率では、全12業種のうち1業種が前期比上昇、9業種が低下、2業種が横ばい。主要4業種ははん用・生産用・業務用機械工業のみ出荷海外比率が上昇。



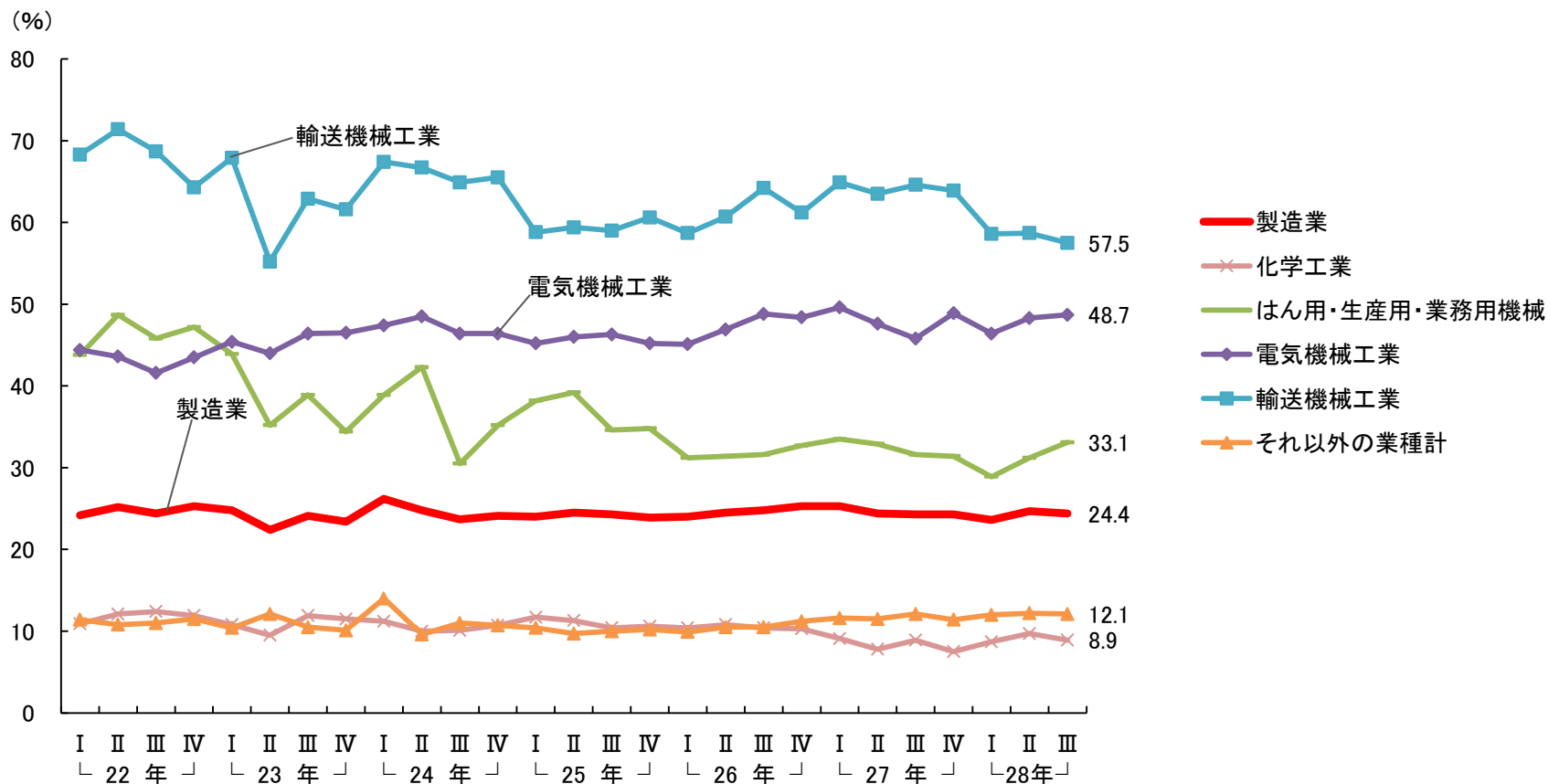
海外市場比率（季節調整済）の推移

28年Ⅲ期の業種別の海外市場比率では、全12業種のうち2業種が前期比上昇、8業種が低下、2業種が横ばい。主要4業種では、はん用・生産用・業務用機械工業のみ海外市場比率が上昇。



逆輸入比率（季節調整済）の推移

28年Ⅲ期の業種別の逆輸入比率（季節調整済）では、全12業種のうち4業種が前期比上昇、8業種が低下。主要4業種では、はん用・生産用・業務用機械工業と電気機械工業の逆輸入比率が上昇。



28年Ⅲ期のグローバル出荷指数のまとめ

- 28年Ⅲ期のグローバル出荷指数は、3期ぶりに前期比上昇で、国内出荷の上昇によるもの。海外出荷は、2期ぶりに前期比低下。
- グローバル出荷指数が、国内出荷のみによって上昇するのは、3年ぶり。
- 業種別のグローバル出荷では、主要業種以外の業種の低下が目立つ。主要業種では、化学工業が内外とも出荷低下。
- 仕向け先別海外出荷では、「第三国向け」出荷が、特に大きく低下。
- 地域別海外出荷では、北米に立地する現地法の出荷は2期ぶりに上昇となったが、中国、ASEAN4からの出荷がともに2期ぶりに低下。
- グローバル化比率においては、出荷海外比率、海外市場比率は前期よりも低下。
- 平成28年Ⅲ期のグローバル出荷は、日本の国内出荷と北米からの海外出荷からの出荷によって、前期比上昇。

注意点

- 本資料の試算を行う際に、使用するデータ（海外現地法人四半期調査、鉱工業指数、日銀輸入物価指数）が速報値から確報値へ塗り替えられることなどに伴い、本資料の数字も前の四半期の数字から変わる。
- このため、「産業活動分析」や「ミニ経済分析」等の方法で過去に提供した、グローバル出荷指数の数値と、今回計算し直した数値には、違いが生じていることに留意。
- 年の表示は和暦であり、元号は特記しない限り原則として平成である。

用語の説明

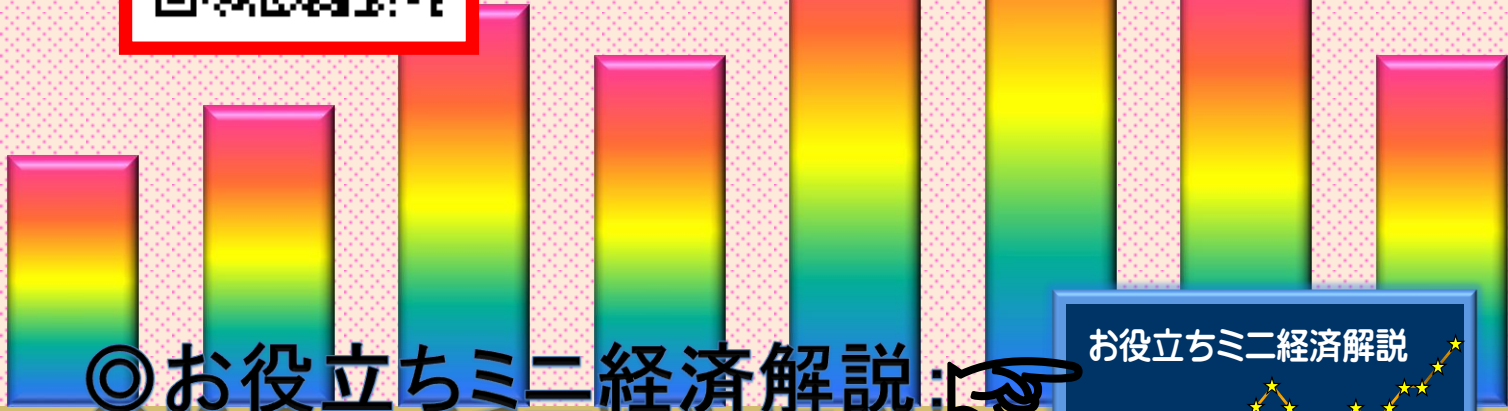
- グローバル出荷指数における電気機械工業は、鉱工業指数における、電気機械、電子部品・デバイス工業、情報通信機械を合わせたものに相当する。
- 「それ以外の業種計」とは、次の8業種を組み合わせたものである。
「食料品・たばこ」、「繊維」、「木材・パルプ・紙・紙加工品」、「窯業・土石」、「鉄鋼」、「非鉄金属」、「金属」、「その他」
- 「それ以外の地域」とは、次の4地域を組み合わせたものである。
「NIEs3」、「その他アジア」、「欧州」、「その他」

こちら是非御覧下さい！

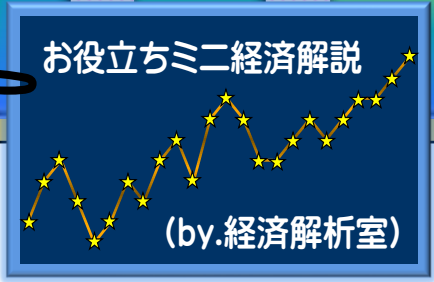
◎ ミニ経済分析：色々なテーマあります



ぜひお手持ちの電話で
QRコードを読み取って
下さい！！



◎ お役立ちミニ経済解説：
総合ポータルサイトです



お役立ちミニ経済解説、総合ポータルサイトです